

社団法人 高知県子ども会連合会



# 高子連だより

No. 5 1

平成22年1月30日発行

## 新年によせて

高知県子ども会連合会  
副会長 杉村 高晴

会員の皆様、あけましておめでとうございます。本年も私ども高子連並びに各子ども会活動へのご指導、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

さて、いよいよ高知県子ども会連合会創立40周年記念式典が平成22年1月31日(日)に迫ってまいりました。実行委員会並びに高知市子ども会連合会は、第34回高知県子ども会育成大会(高知大会)と並行して準備を進めています。すでに事務局より、各市町村子連会長及び事務局に対し参加要請をいたしておりますが、盛大な大会とするため当日の参加者の動員等になお一層のご支援ご協力をお願いする次第です。

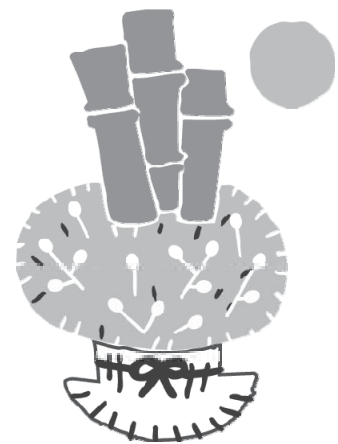
また、平成22年11月には、中国・四国地区育成大会の高知県開催が決定しており、この準備も急がなくてはなりません。この大会には、分科会を多数行うため多くのスタッフが必要となります。正副会長や理事会で決定した事項は早めに連絡するようにいたしますので、ご支援ください。

本年も何かと多忙な年となりますが、会員の皆様方のご協力を得ながら、未来を担う子ども達の健全育成のため、一つ一つ丁寧に事業を遂行したいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



40周年記念式典実行委員会風景

今年もよろしく  
お願いいたします。





## 退任のご挨拶

前会長 山中 國保

会員並びに関係者の皆様には、お忙しいなか明日を担う子どもたちのために尽くされておられますことに心より敬意を抱いております。

さて、広報ですすでご案内のように、私は6月の前期総会で会長職を退かせていただき名誉会員（理事兼任）に推されました。在任期間も長くなり、また加齢も進み更に力不足の身「新しい酒は新しい革袋に盛れ」（新誓約書）の言のとおり勝手な願いをお認めいただきました。

長い間のご指導ご協力に深く感謝し御礼を申し上げますとともに、西内新会長をはじめ新役員諸氏へのご支援をよろしくお願いいたします。

私が青少年団体活動に関わり始めたのは、昭和50年8月県社会教育課（現生涯学習課）の青少年担当を拝命してからです。

特に、身近な地域を活動拠点とする子ども会や青年団（成人団体では地域婦人団体やPTA等）には長い関わりがありました。

このような社会教育関係団体の方々との交流により、県内外の様々な分野で多くの知己を得ることができました。

殊に子ども会では、公務とともに専門員・監査・副会長・会長として現在に至るまで長期にわたって温かく、楽しくしかも意義ある場にいらしていただき感謝の気持ちでいっぱいです。

赴任当時は社会教育、中央教育両審議会による指摘を受けて、特に青少年への社会教育や団体育成の取り組みが活発でした。ボランティア養成や大々的な少年フェスティバル（昭52～61年、県下2カ所で最大1万人参加）などを実施しました。

ご承知のように子ども会は、地域・子どもたち・遊びが活動の三要素ですが、そのいずれもが多様な課題を抱えていますし、同時に指導者・育成者の力量アップも大切な課題です。また、安全会や法人改革も全子連と連動する大きな課題であります。

県内では、学力・体力問題も指摘されていますが、私は、沈む夕日のあの例えようなない美しさや荘厳さをみんなと一緒に体験したり、仲間と思いきり遊び回ることなどを通じて得られるものこそが本物の“学力” “体力” に繋がることだと確信しております。

一人一人は微力ですが、楽しい結果こそ力です。おかげで高子連も四十歳を迎えますし、しんどさもありますが子どもたちの笑顔を求めて歩みを進めましょう。本当にありがとうございました。

長い間おつかれさでした。これからもよろしくお願いいたします。

会員一同



## 全国ジュニア・リーダー大会に参加して

安芸市子連 ジュニア・リーダー 高3 松浦 綾

ジュニア・リーダーの役割とは何でしょうか？私は、ジュニア・リーダーについて知らないことと知らないことがたくさんあります。全国の中で、私のジュニア・リーダーに対する思いは少し分かったものになりました。

今回、私は「今の自分にできることを見つける」を自分自身のテーマとして全国研究集会に望みました。私の考えているジュニア・リーダー像というのはサポート役です。研究集会では、子どもをサポート、親をサポート、地域をサポートするというのを大きな柱として、コミュニケーション能力・活動財・情報について学びました。これはそれぞれ伝える・繋ぐ・広めるという言葉にいい換えれます。そのなかでも、私は特にコミュニケーション能力（伝える）に力を入れて取り組みました。

コミュニケーション能力の向上コースではいくつかゲームや討論を通して円滑なコミュニケーションの方法を身につけました。例えば、コミュニケーションの方法は一つではないということです。コミュニケーションでよく重要視されるのが顔です。口から出されるのが嫌だったり、目線だったり、表情だったりです。でも、それだけではないんです。無言でパズルを完成させていく無言ゲームや話を禁止して一人の人がもう一人に指示を出して絵を完成させる一方通行ゲームでは、言葉、目線、表情が大切というの他に身振りが大切、また、相手のことを理解し、自分のことも相手に分かってもらえるように努めるのがどれだけ大変なのかを知りました。そしてそれらをフルに使ったのが討論です。少人数の班になり各班毎に一つのテーマについて全員が意見や実体験を述べます。最後は班の代表者が全員の前で発表する・・・それを繰り返していくうちに自分の班だけでなく他の人達の意見が聞けて、私と同じジュニア・リーダー達が今どんな悩みがあるのか、どんな思いでこの研究集会に参加しているのかを知ることができました。

私がこのコミュニケーション能力向上コースで得たものは豊かな人間性ではないでしょうか？コース別だけでなく研究集会の全てをふり返っても様々な物事に対する考えが深まりました。

そんなに難しいものではありません。私を感じたのはほとんどが当たり前のことだったということ。他のコースに参加した人の感想を聞くと「レクリエーションは誰のため、何のためにするのか」について考えさせられた・・・だとか「グループで話し合い他の地域の活動を自分の県に持って帰れるようにした、子ども会の仕組みを再確認した」などなど。そして私の「コミュニケーションの方法は一つではない」ということ。どれも当たり前のことではないですか？当たり前すぎて普通すぎて見えていないことはたくさんあると思います。どんな素晴らしいこともどこか日常性に薄められている風に感じました。この研究会で見いだした最も大切なことは「考える」ことです。

ジュニア・リーダーはなぜ必要か？地域とのつながりは？「考える」ことは山ほどあります。私は一度真剣に話をしてみたいと思います。皆で集って考えて、話す、もちろん大人の方にも参加してもらってジュニア・リーダーの必要性について、どれくらい大切な存在であるかを確認しておきたいです。ジュニア・リーダーにしかできないこと、ジュニア・リーダーだからできること、たくさんあるはずで。私は、ジュニア・リーダーであることを誇りに思いたいです。そのためにできることは、「今の自分にできる」ことを見つけるというのをずっと私の中のテーマにすることです。

研究集会で見いだした「考える」こと。それはきっとそれぞれの人間性をより豊かにするでしょう。



## 中・四国地区 J・L 研修大会 in 島根大会に参加して

安芸市子連 ジュニア・リーダー 高2 小松 加奈

私は今回の中・四国大会で 4 回目の参加となりました。高知・島根・広島・そして島根、この 4 回の中でも今回の島根県で行った中・四国大会は、島根県 J・L・S・L が計画から実行にいたるまで全て行って、育成者は一切手出しをしないというものだったので、今まで参加してきた中でも最も楽しい中・四国大会となりました。

今回島根大会でのテーマは「知覚動考」でした。今回の研修でもいろいろなことを学ぶことが出来ました。KYT（危険予知トレーニング）の K には 5 種類（勝敗（KA）危険（KI）区分（KU）形態・形状（KE）効果（KO））があることを知りました。新しいものを覚えました。ウォークラリーで班員のみんなと沢山動きました。そして、J・L のあり方、理想の子ども会リーダー像についてみんなで考えました。本当に 2 泊 3 日という短い期間で、自分自身も少し成長できたんじゃないかなと思います。

今回の中・四国大会は何より島根 J・L がすごかったです。島根 J・L 一人ひとりが本当にこの中・四国大会のために努力し、何度もつまづきながら最後には素晴らしい大会に出来たことが伝わってきました。自分だけの事だけでなく、裏方の作業をしたりみんなの為に動いている島根 J・L を見て、私も「前に立って引っぱっていただけじゃなく、みんなの為に小さなことでもいいから何か気を使ったり、裏方に立って作業をしたりしてもっと安芸 J・L の会長としてしっかりしなければと思いました。

J・L 卒業までの一年半、しっかり自分自身が成長できるように、これからも頑張りたいと思います。

平成 21 年 7 月 27 日（月）～31 日（金）（4 泊 5 日 御殿場国立中央青少年交流の家）において開催された全国子ども会ジュニア・リーダー研究集会で子どもをサポート、親をサポートするを柱としてコミュニケーション能力・活動財・情報について学んできました。

また、平成 21 年 8 月 21 日（金）～23 日（日）（2 泊 3 日で島根県立青少年の家（サンレイク）において開催された中・四国ジュニア・リーダー大会で“知覚動考”を意識しながら地域の子どもの会のリーダーになろうと研修してきました。その時の感想文 No. 50 の広報誌の続編です。

## 緑の募金活動に協力

(社)高知県森と緑の会主催の街頭募金が毎年春秋の2回実施され、高知県子ども会連合会も活動に協力しています。

平成21年10月10日(土)に高知市子連ジュニア・リーダー5名と役員2名、高子連役員3名が参加し高知市の中央公園・大丸前・大橋通りの3ヶ所で募金活動を行いました。

道行く人々に募金の呼びかけをすると、子どもたちの大きな声に「心ばかりですよ」と言いながら箱の中に募金を入れてくださいました。この皆さんの心温まる気持ちを大切にしながらこれからも私たち高子連はふるさとの『森と緑を守るため』に積極的に参加協力をしたいと思います。



### 第40回中国・四国地区子ども会育成研究協議会 / 岡山大会開催

11月7日(土)～8日(日)の二日間、倉敷市において「第40回中国・四国地区子ども会育成協議会/岡山大会」が行われ、高知県からは約30名が出席しました。(総勢447名)

高知県関係者では、平山佳志美さんが指導者表彰を、山中國保(高知県子連)前会長が感謝状を、それぞれ授与されました。

また倉敷市玉島地区の「上成子ども会」による和太鼓の演奏があり、毎週の練習や地域・地区で常日頃発表している腕前を大いに披露してくれました。

今大会のテーマは「子ども会の意義をアピールしよう」に基づき開かれた6つの分科会のうち一つは、高知県より安芸市子連の久保尚会長が提言者となり「単位子ども会において、意義や活動内容を地域社会に理解してもらうための方策」をテーマに活発に議論されました。

夜は水島国際ホテルにおいて交流会やアトラクションがあり、楽しくかつ有意義なひと時もたれました。

2日目は、森美智子先生(岡山学芸館高校参与・保護者教育相談員)による記念講演があ

りました。家庭での躰（しつけ）、子離れ、夫婦仲良く、手作り弁当、服装のマナー、スキンシップなどなど・・・子どもと真剣に向き合い、愛し、関わり、共に育つということが大切だとの内容でした。

最後の閉会式では高知県子ども会連合会が岡山県より全子連・中・四国地区子連旗を引き継ぎました。

いよいよ今年が高知県において開催されます。これまでの各県の大会や9年前の高知大会以上のものができるよう工夫努力しますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



感謝状と指導者表彰を授与された  
山中国保前会長と平山佳志美副会長



## 第40回 高知県子ども会ジュニア・リーダー講習会（講習）

平成21年11月14日（土）～15日（日）の2日間高知県立青少年センター（香南市野市町）にて、小学5年生（イン・リーダー）から高校3年生まで24名の参加者で行われました。

班編成では上級の高校生（班付リーダー）を中心に4つの班に別れ、役割分担・班の目標やニックネームを決め仲間作りに取り組みました。初めての参加で恥ずかしがる小学生もいましたが、先輩たちの明るい励ましでだんだんうちとけてきました。

研修プログラムでは、小学生・初・中・上級に別れたり組み合わせたりしながら

「KYT危険予知トレーニング・安全な子ども会活動」

「広報づくりに挑戦・たより、チラシの作成」

「ゲーム研修・目的、特徴を知り徹底的に練習しよう」

「追跡ハイキング・目あてから実施、採点、講評」

などを実施し、活動の目的や自分の果たす役割などについて研修しました。

最後の閉会式では、各級合計5名の修了者へ西内会長から修了証書が手渡されました。

各級の修了者の修了証書は全国子ども会連合会に送られ、後日認定証が交付されます。また、高子連では本講習会の修了者に【中国・四国地区子ども会ジュニア・リーダー大会】や【全国子ども会ジュニア・リーダー研究集会】への参加を認め、参加者助成を行いより広い視野を持ったジュニア・リーダーの育成にも力を入れて取り組んでいます。

	修了者
修了おめでとう！	上級・・・政岡 裕士（中土佐町）
	中級・・・谷 悠太（いの町）
	初級・・・久保 葵（安芸市）
	手島 あかね（高知市）
	西山 由希子（いの町）



講習会をリードしてくれるS・Lの皆さん



最初は皆緊張気味です。



西内会長にインタビューして記事を作りました。



どうしたら皆で乗れるの？



気をつけなくてはいけないことは  
どんなことかな？

# グリーンアドベンチャー大会

## 《 ご 案 内 》

2月28日（日）香美市土佐山田町『森林センター』で、“グリーンアドベンチャー”と自然の植物を使って万華鏡作りの研修会を開催します。  
この研修会は、親子での参加をおまちしています。  
参加の詳しい方法は、高子連から各市町村子連へお知らせしますが、あらまはは次のとおりです。

- ◇ 日 時 平成 22 年 2 月 28 日（日）午前 10 時 30 分～午後 2 時 30 分
- ◇ 場 所 香美市土佐山田町大平 森林センター内 情報交流館他  
※ 現地集合（送迎バスを運行します）
- ◇ 参加費 無 料（昼食付）
- ◇ 申込方法 各市町村子連を通じて申し込んで下さい
- ◇ 参加対象 小学生・中学生・高校生（J・L含む）S・L及び育成者

## 高子連「後期総会」

## 《 お 知 ら せ 》

平成 21 年度の「後期総会」は、次の日程で開催される予定です。  
「後期総会」では、主に平成 22 年度の運動方針・事業計画や、事業予算が決められます。  
なお、総会に先立ち 3 月 7 日に「理事会」も開催されます。

- ◆ 日 時 平成 22 年 3 月 21 日（日）午後 1 時～3 時
- ◆ 会 場 高知会館





## 高子連事務局職員紹介

プロパー職員として平成 21 年 4 月 1 日から 月・水・金の 9 時 30 分～4 時まで高子連事務局におります『藤岡和子』です。よろしくお願ひします。



平成 21 年 10 月の県社協の人事異動により、高子連事務局を担当しております。『坂田 薫』です。よろしくお願ひします。

### 編集後記

新しい年を迎えました。今年は、高子連も多忙な 1 年になりそうです。

活動報告や情報提供などできる限りお伝えしていきたいと思ひます。

広報は、懸け橋とともに記録集とも言われています。

確かな記録に残るように広報部一同頑張っていきたいと思っております。

地域での活動状況などお知らせください。

広報部 平山 吉永 大野 坂本  
西込 二宮 加藤

### (社) 高知県子ども会連合会

事務局所在地

〒780-0870

高知市本町 4 丁目 1 番 37 号

高知県社会福祉協議会分室内

☎ 088-875-0439

FAX 088-872-6211

編集 広報部